

別記

第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛 先) 京 都 府 知 事	平成26年7月23日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府長岡京市東神足2-1-1	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ニチュ三菱フォークリフト株式会社 取締役社長 ニノ宮 秀明

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001:2004/JIS Q 14001:2004
適用範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・ニチュ三菱フォークリフト株式会社 京都工場、滋賀工場、オンサイト研修センター ・ニチュマシナリー株式会社
導入年月日	2005年9月16日
認証番号	JQA-EM4909
基本方針	添付のとおり（環境マネジメントマニュアル抜粋）
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<p>2014年度～2016年度の3か年目標（環境目的）について次のとおり定めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境活動を事業活動のひとつとして位置づける。 ・省エネ、省資源に寄与する製品を開発、提供する。 ・グリーン調達を実施する。 ・ゼロエミッション（再資源化率99%以上）を達成する。 ・環境啓発活動を積極的に行う。 ・CO2排出量削減と、エネルギー原単位を前年比1%改善する。 ・製品/部品輸送に伴う省エネ、省資源について原単位で改善する。
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各部署のEMS実施計画の充実、EMS推進者の配置・育成 ・モデルチェンジ車のエネルギー効率、リサイクル率の向上 ・製品含有化学物質管理体制の確立 ・一般廃棄物削減、分別廃棄の徹底 ・地域貢献活動への積極的参加 ・省エネ法に基づいたエネルギー使用の合理化 ・適切な原単位の設定と目標設定
目標を達成するための取組の進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・EMS推進者を配置し環境教育実施 ・環境適合設計のためのしくみ改善を検討 ・SVHC調査や取引先教育実施 ・RPFへのリサイクル継続、廃棄物分別の強化、事務用品グリーン購入の促進 ・環境投資の実施、TPM定着によるラインの安定稼働 ・売上高原単位による梱包材等の削減
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<p>2013年度までの成果、評価等については、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデルチェンジ車のエネルギー効率、リサイクル率については、目標数値をクリアできる見通しが立ったので、今後は環境配慮設計の仕組みづくりに注力する。REACH規制対応については、管理物質調査を開始。 ・ゼロエミッションを目指して、分別廃棄の従来以上の徹底など、一般廃棄物のさらなる削減が必要である。 ・CO2排出量については、エネルギー原単位を前年比改善することができた。 ・トラックの製品積載率について前年実績を維持できなかったが、梱包材の削減などでは効果を上げている。
事業活動に係る法令の遵守の状況	環境関連法規制登録簿を作成し、毎年、順法性評価を行うとともに、適宜、法規制登録簿の見直しを実施している。 行政当局から違反の指摘はなかった。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	評価及び見直しについては年1回実施している。 また、2014年度からの環境目的（3か年目標）を決定し、本来業務に即したEMS活動を推進するため、2014年度の環境目標を決定した。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。